

高等部 1年生 家庭科 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名 (仮)
<p>A 家族・家庭生活 生活単元学習 ア 自分の成長と家族：自分の成長と家族や家庭生活などに関わる学習活動 (ア) 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くこと。 (イ) 家族とのよりよい関わり方について考え、表現すること。自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ること。</p>	<p>「気持ちがつながる家族の時間」*小6 ①家族とふれ合う時間を見つけよう ②我が家団らんタイム ③団らんを生活の中に生かさそう</p> <p>*小6の内容とほぼ同じだが、知的では、「関わりが分かり」となっており、自分の成長と家族や家庭生活の関わりについて指導を盛り込む。</p>
<p>A 家族・家庭生活 生活単元学習 イ 家庭生活での役割と地域との関わり：家族との触れ合いや地域の人々と接することなどに関わる学習活動 (ア) 家庭生活において、地域の人々との協力が大切であることに気付くこと。 (イ) 家族と地域の人々とのよりよい関わり方について考え、表現すること。</p>	<p>「あなたは家庭や地域の宝物」 ①家族や地域の一員として ②私から地域につなげよう！ 広げよう！ ③もっとかがやく、これからの私たち</p> <p>*小とほぼ同じだが、「地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり」が削除されていることから、その内容については、取り扱わなくてもよい。</p>
<p>B 衣食住の生活 教科別の指導 ア 食事の役割：食事の役割に関わる学習活動 (ア) 生活の中で食事が果たす役割について理解すること。 (イ) 健康によい食習慣について考え、工夫すること。</p>	<p>「私たちの食生活」 * 中学校家庭科(東京書籍) 「食生活と栄養」 ①食事の役割について考えよう ②食生活の課題を見つけよう ③栄養素の種類と働きを知ろう ④自分に必要な栄養について考えよう</p>
<p>B 衣食住の生活 教科別の指導 イ 日常食の調理：日常食の調理に関わる学習活動 (ア) 日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、基礎的な日常食の調理ができること。 (イ) 基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考え、表現すること。</p>	<p>「献立作りと食品の選択」 ①食品に含まれる栄養素を調べよう ②何をどのくらい食べればよいか考えよう ③バランスの良い食事について考えよう ④生鮮食品と加工食品の特徴を知ろう ⑤食品の選択と購入について考えよう</p> <p>「調理と食文化」 ①日常食の調理をしよう ②肉の調理を工夫しよう ③魚の調理を工夫しよう ④野菜の調理を工夫しよう ⑤地域の食材を生かした調理をしよう</p> <p>* 中学校とほぼ同じ内容。アでは、「1日に必要な食品の種類と概量が分かり～」が削除されているものの、内容解説で取り扱うことを明記している。イでは、「地域の食文化について～」という内容が削除されていることから、食文化について取り扱わなくてもよい。</p>
<p>B 衣食住の生活 教科別の指導 ウ 衣服の選択：衣服の選択に関わる学習活動 (ア) 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 (イ) 衣服の選択について考え、工夫すること。</p>	<p>「私たちの衣生活」 * 中学校家庭科(東京書籍) ①衣服の働きを考えよう ②TPOを踏まえた自分らしい着方を工夫しよう ③衣服の計画的な活用方法を考えよう ④必要な衣服を選択しよう ⑤衣服の手入れをしよう ⑥よりよい衣生活を目指して</p> <p>* 中学校指導要領の一部と同じ。「衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ」については、高等部2段階で取り扱うことから、斜線部分は指</p>

<p>教科別の指導 工 布を用いた製作：布を用いた製作に関わる学習活動 (ア) 目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、適切にできること。 (イ) 目的に応じた縫い方について考え、工夫すること。</p>	<p>導せず。</p> <p>「ひと針に心をこめて」*小家庭科 ①針と糸を使ってできること ②手縫いにトライ！ ③手縫いのよさを生活に生かそう ↑ミシンを付け加える。 *小学校の内容とほぼ同じ。目的に応じた縫い方では、手縫い、ミシンを取り上げるとしている。 手縫いは、なみ縫い、返し縫い、かがり縫い。</p>
<p>C消費生活・環境 教科別の指導 生活単元学習 作業学習 ア 消費生活：消費生活に関わる学習活動 (ア) 次のような知識及び技能を身に付けること。 ⑦ 購入方法や支払方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性に気付くこと。 ⑧ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理ができること。 (イ) 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、表現すること。</p>	<p>★2段階と同じ内容 「私たちの消費生活と環境」 *中学校家庭科(東京書籍) ①消費者としての自覚をもとう ②販売方法と支払い方法について ③商品の選択と購入について ④消費者トラブルを解決する方法を考えよう ⑤消費者の権利と責任について ⑥よりよい消費生活を目指して 「環境に配慮した消費生活」 ①エネルギー消費を減らす方法を考えよう ②持続可能な社会を目指そう</p> <p>*中学校家庭科にある内容と同じ文言である。したがって、中学校家庭科の教科書等の内容については、大いに参考になる。</p>